

平成28年度第1回

中小企業景況調査報告書

平成28年 4月～6月期 報告
平成28年 7月～9月期 予測

千葉県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

平成28年4月～6月期

調査要領

1. 調査対象

(1)対象地域

11 商工会地域 勝浦市商工会、袖ヶ浦市商工会、旭市商工会、野田市関宿商工会、南房総市朝夷商工会、印西市商工会、大網白里市商工会、成田市東商工会、東庄町商工会、富津市商工会、長柄町商工会

(2)対象企業数 165 企業(11 商工会×15 企業)

(3)回答企業数 165 企業

2. 調査対象期間 平成28年4月～6月を対象とし、調査期間は平成28年5月21日～6月1日である。

3. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問面接調査。

(1)産業別構成

業種	回答企業数	構成比
製造業	29	17.6%
建設業	28	17.0%
小売業	43	26.1%
サービス業	65	39.4%
合計	165	

(小数点1位以下四捨五入)

(2)業種別構成

① 建設業

業種	回答企業数	構成比
総合工事業	8	28.6%
職別工事業	17	60.7%
設備工事業	3	10.7%
合計	28	

(小数点1位以下四捨五入)

② 製造業

業 種	回答企業数	構成比
食料品製造業	11	37.9%
飲料・たばこ・飼料製造業	1	3.4%
木材・木製品製造業(家具を除く)	0	0.0%
家具・装備品製造業	1	3.4%
パルプ・紙・紙加工品製造業	1	3.4%
なめし革・同製品・毛皮製造業	2	6.9%
金属製品製造業	3	10.3%
はん用機械器具製造業	1	3.4%
生産用機械器具製造業	1	3.4%
業務用機械器具製造業	1	3.4%
その他の製造業	7	24.1%
合 計	29	

(小数点 1 位以下四捨五入)

③ 小売業

業 種	回答企業数	構成比
各種商品小売業	2	4.7%
織物・衣服・身の回り品小売業	5	11.6%
飲食料品小売業	20	46.5%
機械器具小売業	2	4.7%
その他小売業	14	32.6%
合 計	43	

(小数点 1 位以下四捨五入)

④ サービス業

業 種	回答企業数	構成比
一般飲食店	23	35.4%
宿泊業	4	6.2%
運送業	3	4.6%
自動車整備業	13	20.0%
洗濯・理美容業	12	18.5%
その他のサービス業	10	15.4%
合 計	65	

(小数点 1 位以下四捨五入)

本報告書中の[DI 値]とあるのは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転、上昇)企業割合から、減少(悪化、低下)企業割合を差し引いた値を示すものである。

I. 県下中小企業の景況

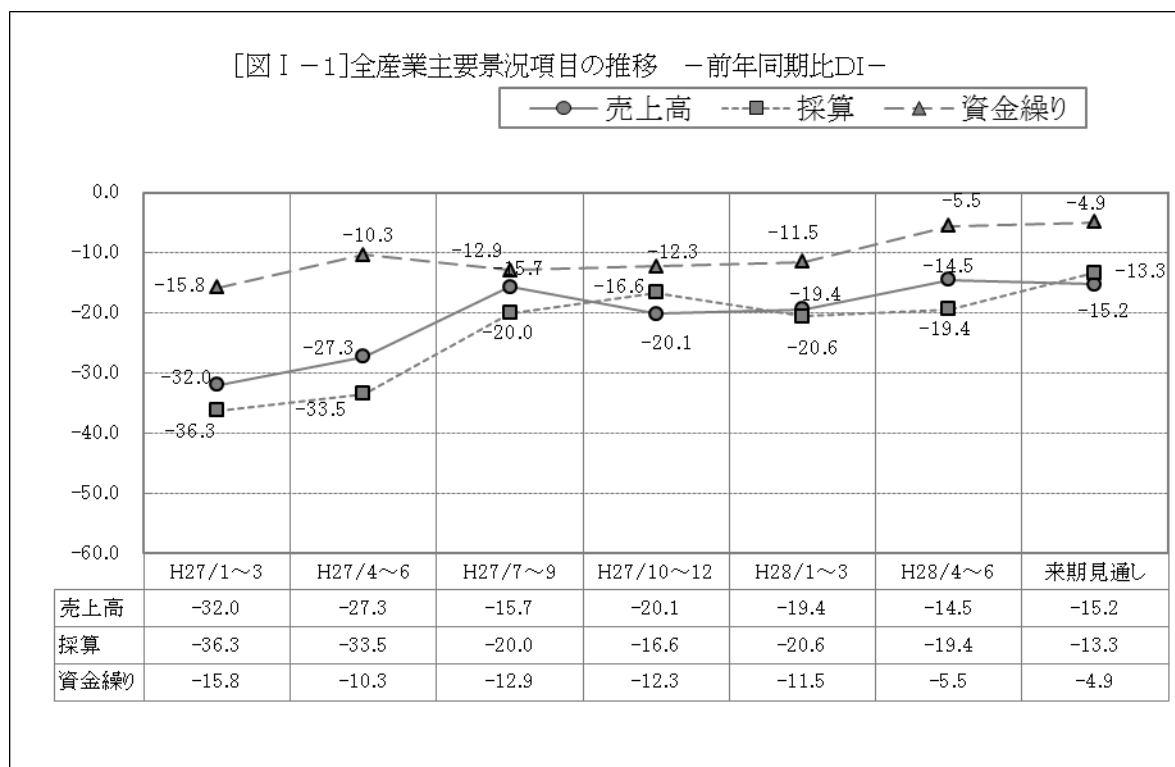
“業種にばらつきあるも、業況は改善へ”

千葉県商工会地区の平成 28 年 4～6 月期中小企業景況調査結果によると、産業全体の景況感は[図 I-1]に示したとおり、今期売上高 DI 値は-14.5、前期（平成 28 年 1～3 月期、-19.4）比で 4.9 ポイントマイナス幅が縮小。同採算 DI 値は-19.4、前期（-20.6）比で 1.2 ポイントマイナス幅が縮小。また、資金繰り DI 値は-5.5、前期（-11.5）比で 6.0 マイナス幅が縮小しており、小幅ながらも、改善している。

また、前年同期（平成 27 年 4～6 月期）調査と比較してみると、売上高 DI 値は、前年同期（-27.3）比で 12.8 ポイント増、採算 DI 値については、前年同期（-33.5）比で 14.1 ポイント増、資金繰り DI 値は、前年同期（-10.3）比で 4.8 ポイント増といずれもマイナス幅が縮小している。

今期は、業種によるバラツキが大きく、製造業、小売業については、売上高、採算 DI 値のマイナス幅は拡大しているが、建設業、サービス業については、同 DI 値のマイナス幅は縮小している。また、資金繰り DI 値については小売業のマイナス幅が若干拡大するも、全体的にマイナス幅は縮小傾向となっている。














また、来期（平成 28 年 7～9 月期）については、売上高 DI 値はやや悪化する見通しだが、全体的には、改善する見通しとなっている。



Ⅱ. 各産業の景況

1. 製造業の景況

“円高の影響で、採算は悪化”

	今期の景況	来期の見通し	
			 :DI 値 +30～
売上高			 :DI 値 +10～+30
採算			 :DI 値 +10～-10
資金繰り			 :DI 値 -10～-30
総合			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区における製造業の景況は、円高や海外市場の低迷等マイナス材料が多く、売上高 DI 値は-10.7 ポイント、前期と比べると 3.5 ポイント減少している。また、設備投資が低調になり、設備操業率が低下。

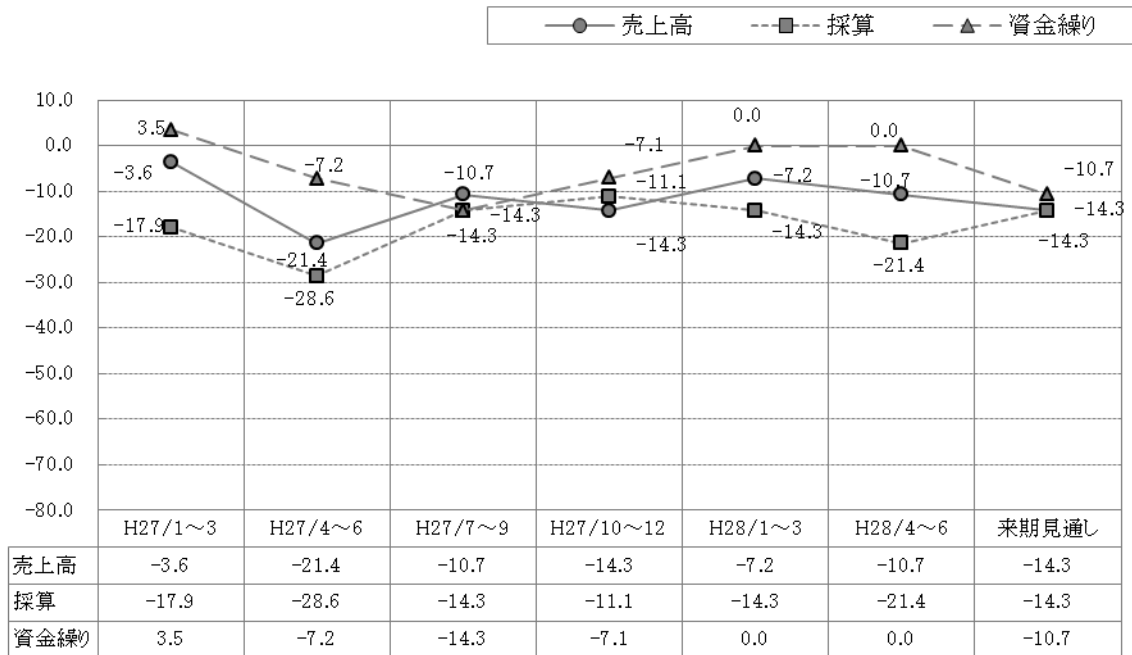
また、原材料高騰や製品（加工）単価の低下、上昇難を経営上の問題点とする事業者は増えており、採算 DI 値は 7.1 ポイントマイナス幅が拡大。また、需要の停滞、製品ニーズの変化を問題点とする事業者は前回同様に多く、新技術や新素材への対応、顧客接点の強化、新市場創出といった経営課題が確認できる。

資金繰り DI 値については 0.0 ポイントで前期と変わらず。

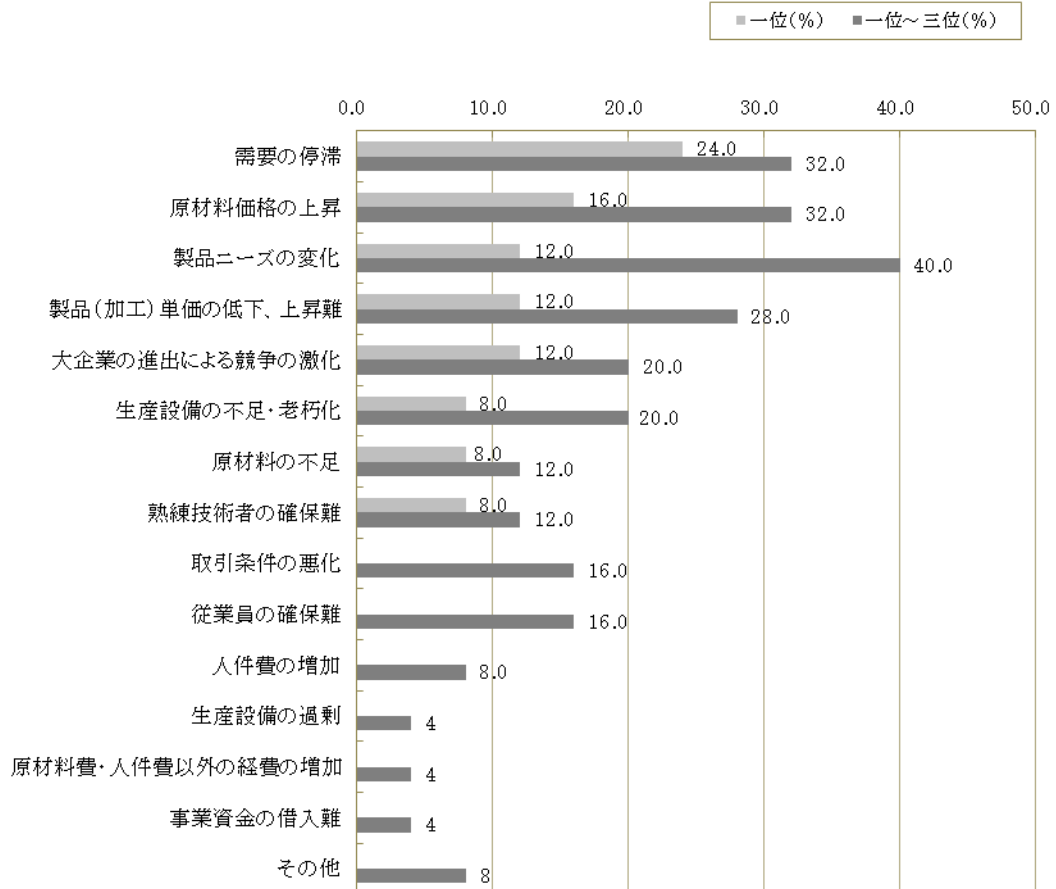
引合いの減少や設備操業率の低下、円高の加速等先行きの不透明感も増しており、来期についても、景況は悪化する見通しになっている。

今期は新規設備投資については 2 社が実施。内訳は、車両・運搬具、生産設備、工場建物となっている。また、来期は 2 社が計画しており、生産設備と付帯施設の導入を予定している。

[図II-1] 製造業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI -
















[図II-2] 製造業 経営上の問題点の状況



2. 建設業の景況

“人手不足が解消。景況は回復へ”

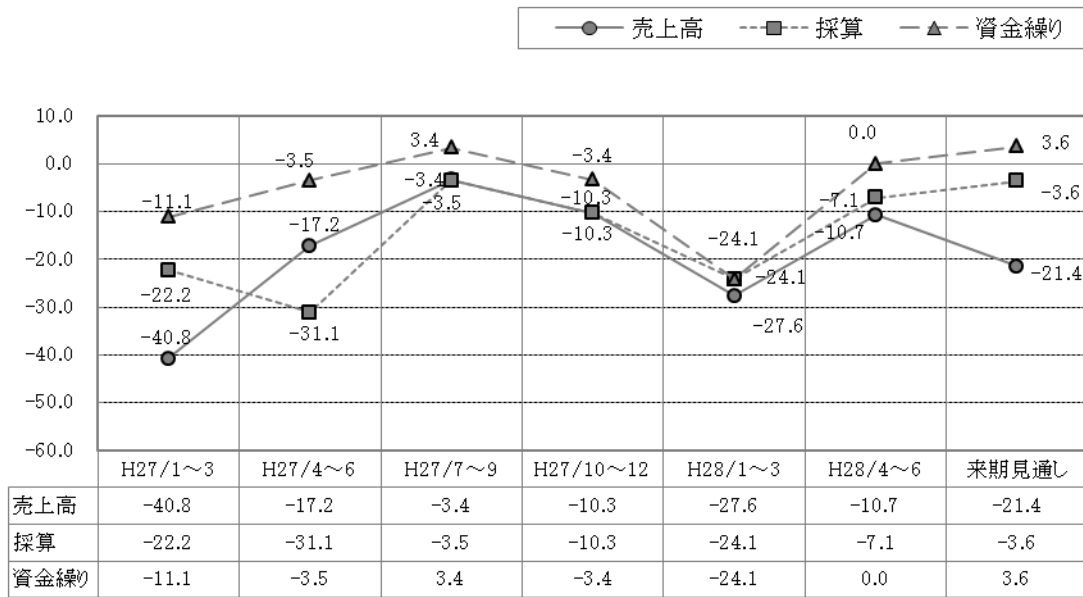
	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区における建設業の景況は、新規契約工事額や引合い件数が増加。さらに、熟練技術者の確保難、従業員確保難、下請業者の確保難を経営上の問題点とする事業者が減っており、人手不足による機会損失が減少している。このため、売上高 DI 値は-10.7 ポイント、前期 (-27.6 ポイント) 比で 16.9 ポイントマイナス幅が縮小。採算 DI 値については-7.1 ポイントで前期 (-24.1 ポイント) 比 17.0 ポイント、資金繰り DI 値は 0.0 ポイントで、前期 (-24.1 ポイント) 比 24.1 ポイントとそれぞれ改善している。

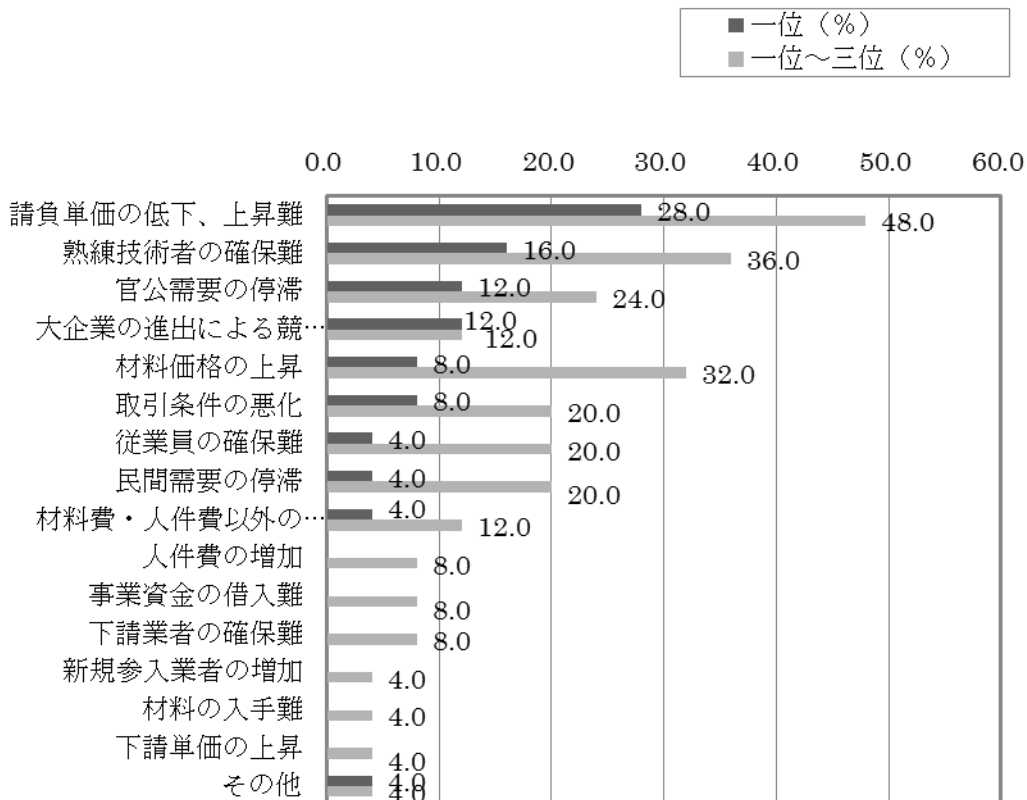
来期については、売上高 DI 値は、悪化する見通しも、採算、資金繰り DI 値については引き続き改善の見通しとなっており、回復基調となっている。

新規設備投資については、2社が実施しており、OA 機器と車両・運搬具を導入。来期計画は 3社となっており、車両・運搬具、建設機械などの導入を予定している。

[図Ⅱ-3]建設業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















「図表Ⅱ-4」建設業 経営上の問題点の状況



3. 小売業の景況

“売上高は改善方向へ、魅力的な店舗づくりが課題”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

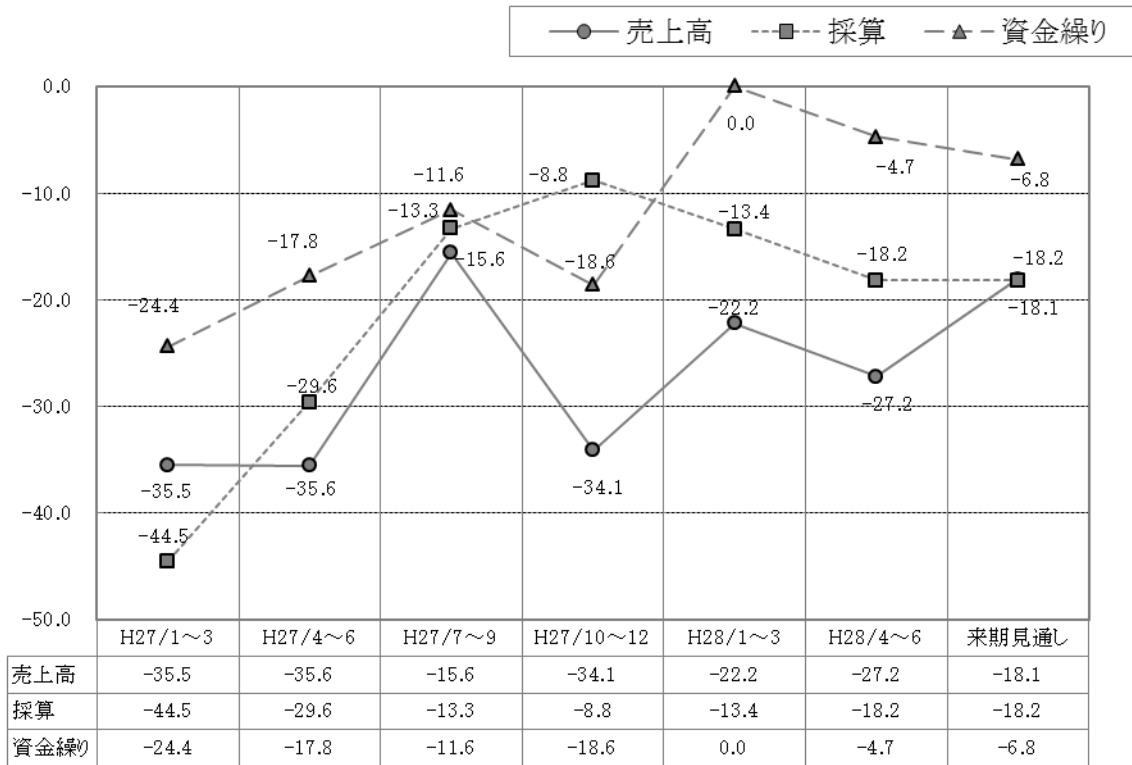
千葉県商工会地区における小売業の景況は、売上高DI値は-27.2で、前期(-22.2)よりも5.0ポイントマイナス幅が拡大。大型店・中型店の進出や購買力の他地域への流出を問題点としてあげる事業者は増加しており、競争激化により、利用客数が減少、事業環境は悪化している。資金繰りDI値についても-4.7で前期(0.0)から4.7ポイントマイナス幅が拡大している。採算DI値は-18.2で、前期(-13.4)から4.8ポイントマイナス幅が拡大。

来期について売上高DI値はやや改善する見通しであるが、今期同様、厳しい環境が続く見通しである。

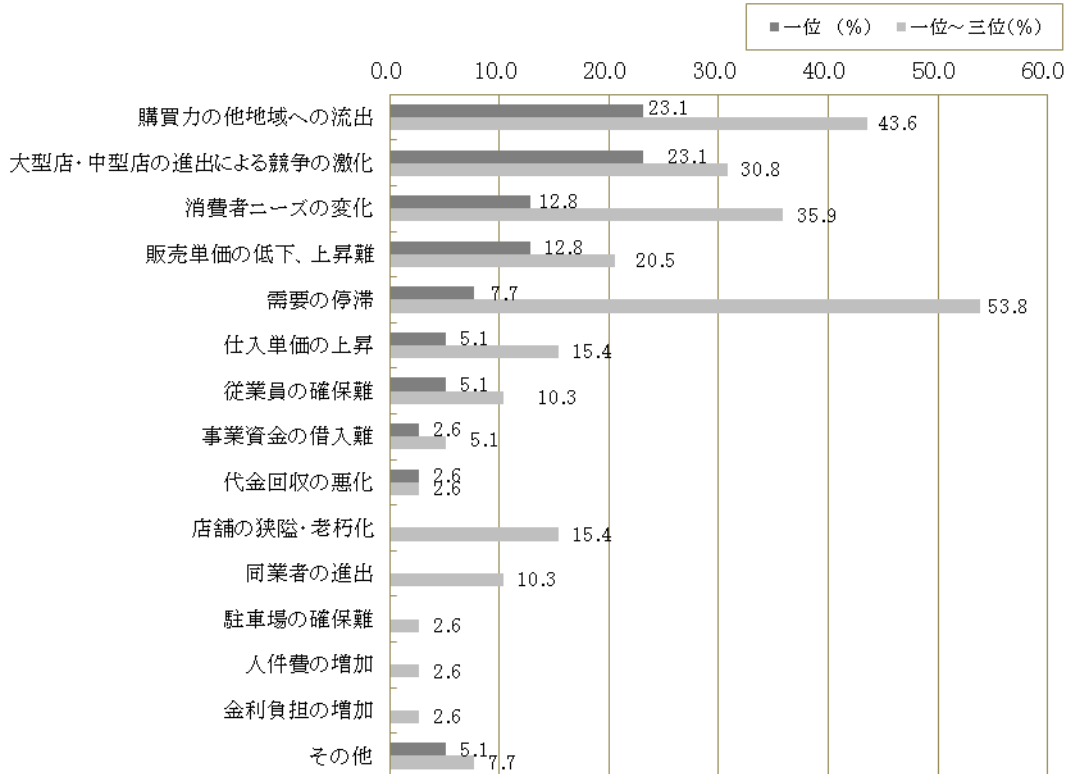
需要の停滞については、相変わらず多くの事業者が問題と感じており、魅力的な店舗づくりによる差別化や商圈の拡大が引き続き課題となっている。

新規設備投資については、今期実績なし。来期は4社で、店舗、販売設備、付帯設備の導入を予定している。

[図Ⅱ-5]小売業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















[図Ⅱ-6]小売業 経営上の問題点の状況



4. サービス業の景況

“サービス見直しも進み、回復基調続く”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30  :DI 値 -30～

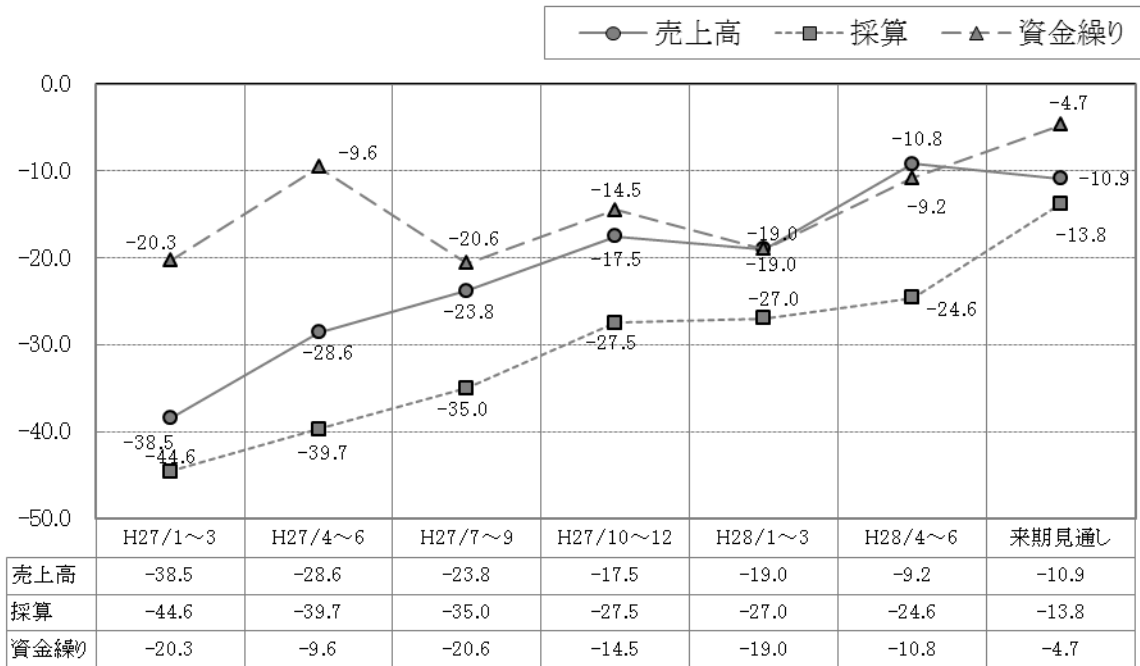
千葉県商工会地区におけるサービス業の景況は、売上高 DI 値については-9.2 ポイントで 9.8 ポイント(前期比)マイナス幅が縮小。資金繰り DI 値についても-10.8 ポイントで、前期比 8.2 ポイントマイナス幅が縮小している。採算 DI 値については、-24.6 ポイントで 2.4 ポイント(前期比)ではあるがマイナス幅が縮小しており、7 期連続で改善している。大企業の進出による競争の激化や材料等仕入単価の上昇を経営上の問題点とする事業者が増加しているが、利用者ニーズの変化や利用料金の低下・上昇難を問題点とする事業者が減少していることから、消費者ニーズに対応したサービスの見直しや価格転嫁ができていると考えられ、客単価・利用客数ともに改善傾向にある。

来期については、売上高 DI 値は、ほぼ横ばいの見通しであり、採算、資金繰り DI 値については、引き続き改善を見込んでいる。

一方で、従業員の確保を課題としている事業者は相変わらず多く、オペレーション面での改善は望まれる。

なお、新規設備投資については、1 社が実施。また、来期計画は 8 社で、土地、建物、サービス設備、車両・運搬具などの導入を予定しており、設備投資も増加を見込んでいる。

[図Ⅱ-7] サービス業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-



[図Ⅱ-8] サービス業 経営上の問題点の状況

